

## 言語文化研究科 学位論文（修士論文）審査基準

## 1. 修了基準について

## ①言語文化コース

合計 30 単位以上を履修し、かつ、修士論文又は特定課題研究成果の審査に合格しなければならない。

## ②ビジネス日本語コース

合計 30 単位以上修得し、かつ特定課題研究成果の審査に合格しなければならない。

## 2. 審査基準

言語文化コースの審査対象者に対しては、提出した修士論文に従い 30 分程度の「口頭試問」を行う。審査対象者は、研究内容の概要を説明し、審査委員が研究内容について質疑・応答を行う。その他、領域に関連する内容について、適宜口頭によって質疑・応答を行い、修士課程の修了に値するものであるかを評価する。なお、審査対象者はその成果を学内公聴会にて発表する。

ビジネス日本語コースの審査対象者に対しては、提出した特定課題研究について審査を行う。なお、審査対象者はその成果を学内公聴会にて発表する。

## 修士論文 審査の要点

1. 研究課題に対して問題意識は十分であるか。
2. 研究内容は言語文化研究上の意義を有するか、あるいは言語文化教育実践の専門性の向上に意義を有するものであるか。
3. 研究内容は広い視野にたって応用性のあるものであるか。
4. 論文の構成および内容に研究課題が十分に盛り込まれているか。
5. 論文の主旨の展開は十分であるか。
6. 専門用語を正しく理解して活用しているか。
7. 論文には文献が十分に活用されているか。
8. 発表（説明）の内容は、研究の内容を十分に伝えているか。また、発表の方法が十分に考慮されているか。

## 特定課題研究 審査の要点

1. 研究課題に対して問題意識は十分であるか。
2. 研究内容はビジネス日本語実践の専門性の向上に意義を有するものであるか。
3. 論文の構成および内容に研究課題が十分に盛り込まれているか。
4. 専門用語を正しく理解して活用しているか。
5. 論文には文献が十分に活用されているか。
6. 発表（説明）の内容は、研究の内容を十分に伝えているか。また、発表の方法が十分に考慮されているか。

学位論文  
(修士論文・特定課題研究)  
審査の要点

## 言語文化研究科 学位論文（博士論文） 審査基準

<b>1.修了基準について</b>	必修 16 単位、選択 8 単位、合計 24 単位を修得し、かつ博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。
<b>2.審査基準</b>	
<b>学位論文（博士論文） 審査の要点</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 研究は国際的な当該領域の学術的な水準（専門性、方法、倫理）を満たしている。</li><li>2. その領域と社会に新たな貢献を行うことができる研究である。</li><li>3. 単著または筆頭著者として、博士論文に関連する内容の研究論文が同分野研究者による査読のある学術誌に複数掲載されている、あるいはその許可がすでに得られている。</li><li>4. 複数の論文が十分な関連性を持って博士論文を構成してもよい。</li><li>5. 以上の審査基準に従い、論文の様式等の細則は別途定める。</li></ol>